新春クイズ

⑦布袋尊、大黒天、毘沙門天などの神様を総称して□□□□■と言う　⑧全7問の答えの■に入る文字を組み合わせると出来る言葉は？　■■■■■■■

理解推進事業

恒例の作品展がパルテノン多摩で開催
世界遺産登録を記念した作品などがずらり

障がいのある方の創作作品約470点を展示した第24回多摩市障がい者作品展が11月30日から8日間に亘り開催された。絵やイラスト、書、陶芸、写真、オブジェなど多彩な作品の中には、飲料缶を使用し富岡製糸場を模した物や、和紙のクリスマスツリーなども並んだ。会場となったパルテノン多摩には初日から大勢が鑑賞に訪れ、「作品から元気をもらった」「アイデアに脱帽した」などの声があがった。

㊀長い時間と手間をかけ制作された作品群。一点一点の前で足を止め熱心に見入る姿が会場のあちこちに

資源化センター事業

資源を生かすため障がい者も奮闘
11月は81トン超を処理

11月の作業実績は12日間でおよそ60時間。総選別量は81.21トンとなった。クリスマスから年末年始のこの時期が1年で最も処理量が多くなり、その分、処理に要する負担も大きくなる。各家庭や事業所でのマナーを一層徹底したい。年内の収集は12月30日(火)まで。年明けは1月5日(月)から開始となる。

㊀リサイクルされ新たな資源に

㊀びんは中身を出し、水で軽くすすいであると処理がスムーズ

移動支援事業

冬休みもイベントがいっぱい
ヘルパー同行で出かけてみよう

㊀㊁多摩市から電車で約1時間。雄大な眺めに心が洗われる

11月の依頼は、東永山複合施設で開催された福祉祭りや映画館への同行など計47件だった。また、この時期の最大の楽しみと言えば紅葉散策。今年も要望があり高尾山へ同行した。頂上から赤や黄に染まった山々を眺め下ろす気分は最高。市内ではこれから春にかけさまざまなイベントが予定されている。冬休みや春休みなどを利用し出かけてみてはいかが。

ヘルプカード配布のお知らせ

いざという時に役立つヘルプカード
支援センターの一まで配布中

障害や疾病のある人が普段から身につけておくことで、いざというときに自分の情報や手助けをしてもらいたいことを伝えるカード『ヘルプカード』。市役所や社会福祉協議会などで配布しているが、支援センターの一まで、登録者を対象に配布がスタートしている。詳細はスタッフまで。

㊀自分の名前などの基本情報を書いた「裏表カード」。ストラップ付き

㊀緊急連絡先や病名、かかりつけの病院や薬などくわしい医療情報を書いた「3つ折りカード」

加盟団体からのお知らせ

アートひまわり
南野 3-15-1　5階　☎373-8455
NPO法人あしたや共働企画
諏訪 5-6-3-101　☎372-3690
NPO法人暉望
永山 4-2-4-103　☎389-1234
NPO法人くぬぎ
永山 3-9　☎375-2583
NPO法人どんぐりパン
諏訪 5-6-3-105　☎371-9236
サンクラブ多摩
南野 3-15-1　5階　☎356-0308
多摩市視覚障害者福祉協会
聖ヶ丘 1-28-26-103　☎372-8051
多摩市身体障害者福祉協会
南野 3-15-1　3階　☎338-7009
多摩市手をつなぐ親の会
聖ヶ丘 1-19-3-304　☎374-8740
多摩市聴覚障害者協会
聖ヶ丘 1-19-5-201　☎372-0939

※電話番号の市外局番は、042です

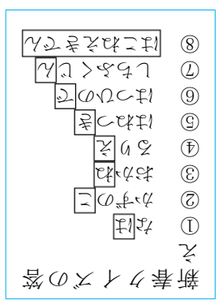
（あいうえお順）

■■■■■■■■　加盟団体紹介

NPO法人どんぐりパン

手をつなぐ親の会が居場所づくりのために設立した『どんぐり』がはじまり。平成19年にNPO法人化し、親の会から独立。新法のもと就労継続支援B型と生活介護の指定障害福祉サービス事業所として活動している。現在の利用者は24名。主な生産活動はパン・焼菓子の製造販売、カフェ運営、受注事業と弁当の製造販売。店舗は諏訪商店街の一角にある。

㊀「いっしょにパンをつくろう」と題して月1回、小学生対象のパン教室を開催している。参加費は無料。次回は2月の予定



【第24回多摩市障がい者美術作品展／協賛企業】アーバンベンディックスネットワーク(株)　安全企画工業(株)　学校法人　大妻学院　(株)タイコー　(株)日本水泳振興会　(株)八洋　(株)ユニカ　ファーマーズマーケット千歳屋(株)リーズ　京王電鉄(株)　サントリービバレッジサービス(株)　社会福祉法人　桜ケ丘社会事業協会　桜ケ丘記念病院　東京医療学院大学　東京海上日動システムズ(株)　東京キリンビバレッジサービス(株)　東京多摩グリーンロータリークラブ　東京多摩ロータリークラブ　二幸産業(株)　武州交通興業(株)　山崎製パン(株)　※あいうえお順

多摩市障害者福祉協会

つながりを力に、人と人を結ぶ

月刊多障協通信　ルリエ

relier

発行：多摩市障害者福祉協会
多摩市南野3-15-1 総合福祉センター5階
障害者団体共用室
☎042-356-0308 FAX042-311-2327
ホームページ　http://tashokyo.com

多障協だより
リニューアル新創刊
年末年始号!!

2014年12月25日発行
2014年第1巻第4号

目次

事業報告
自己表現と社会参加をめざして　1
支援センターのーま　2
障がい者就労支援センター　3
理解推進事業　4
移動支援事業　4
資源化センター事業　4
加盟団体からのお知らせ　4
ヘルプカード配布のお知らせ　4

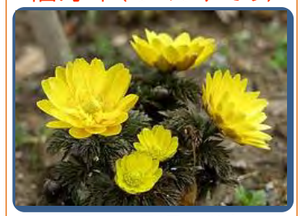
連載
NEWS　1
今月の花　1
プログラムカレンダー　2
今月のひと口解説　3
現場からの声　3

自己表現と社会参加をめざして

新年、明けましておめでとうございます。新しい年がいい1年でありますことをお祈り申し上げます。

11月30日から12月7日までパルテノン多摩にて第24回多摩市障がい者美術作品展が開催されました。この催しは障がい者とその家族が手づくりで始めた作品展からスタートしたもので、今や市主催の年度行事となっています。1976年の国連総会で、1981年を国際障害者年とすることが決議され、以後「完全参加と平等」をスローガンに各国が計画的な課題解決に取組むこととなりましたが、このイベントもそうした活動のひとつです。活気に満ちた会場をプログラムを手に回りました。手、足、口で創り、書き、描いている情景。厳しい生活環境の中から生まれた自己表現、自己実現の姿に胸を熱くしました。障害者自ら行動、参加すると共に障害に対する正しい理解が今年さらに進むことを切に願います。

今月の花
福寿草(ふくじゅそう)



旧暦の正月頃に咲き、元日草などの別名を持つ。春を告げる花の代表である。天に向かい雪を押し上げて開花し、花の期間も長いことから「福寿(幸福と長寿)」の名前がついた。花言葉は「永久の幸福」「思い出」「幸福を招く」「祝福」。ただし、根や茎には強い毒性があるので絶対に食べないように。

NEWS～障害のある高齢者に切れ目ない支援を行なうために

多摩市の高齢化率は既に25%を超え、超高齢社会を迎えているなかで、障がい者の高齢化も年々進んでいる。ある障がい者団体の調査で、障がいのある人が65歳になると、障害福祉から介護保険のサービスに変わることで、従来受けてきたサービスを継続できなくなったり、負担額が変わったりするケースが各地で起きている実態が明らかになった。高齢になった障がい者が、本人の望む、必要な支援に支えられ、地域と交わり安心して暮らせる体制づくりがいま望まれている。

※『relier』は「つながり」や「結びつき」を表わすフランス語。人と人、地域と地域をつなげることで真の共生をめざしたいという意味を込め、リニューアルした広報誌にこの名前をつけました

新春クイズ

①一番南にある県庁所在地は何市？ □■市

②にしんのたまごで子孫繁栄を願った食べものは？ □□■

③初詣の時さい銭箱に入れるのは？ □□■

支援センター　のーま

外出プログラムのお知らせ

今年度2回目の外出プログラムは2月18日(水)に実施し、神代植物園・深大寺へ行きます。

神代植物園では見ごろの梅や椿を鑑賞し、深大寺では、名物の深大寺蕎麦を食べて体を温め、境内の散策をしましょう！

日程：2月18日(水)
時間：10:00のーまフリースペース集合。15:30京王聖蹟桜ヶ丘駅解散
持ち物：障害者手帳
お金(交通費580円+昼食代1000円程度)
常備薬
降雪・雨天時は、3月4日(水)に延期になります。
～申し込み方法～
受付にある参加者名簿に2月3日(火)までに名前を書き職員に保険代30円をお支払い下さい。

詳細は別紙をご覧ください。

のーま利用者の美術展作品

多摩市障がい者美術作品展の個人作品に3名が出展。

㊀ Tさん
折り紙作品
『折り紙の花園』

㊀ Iさん
水きり絵作品
『癒し』

㊀ Cさん
絵画
『家族』

プログラムお休みのお知らせ

1月2日(金)のイブニングタイム、3日(土)の利用者ミーティングは、のーまお休みの為、中止になります。

11月実績報告

面談86件、フリースペース利用89件、プログラム参加者は65名といずれも前月より1割減少した。イブニングタイムは内容変更後初めての実施であったが参加者は21名で前月より3名増加した。初めて参加される方もいて楽しんでいた。

『鉄道員ぽっぽや』

佐藤乙松は北海道のローカル線、幌舞線の終着駅の駅長。鉄道員一筋に生きてきた彼は、近く廃線になる幌舞線とともに定年を迎えようとしていた。11月に惜しくもこの世を去った高倉健主演のヒューマンドラマ。

発達障害相談の日程変更

1月3日(土)は休みの為、1月10日(土)に変更いたします。

日	月	火	水	木	金	土
年末年始のお休みについてお知らせ 12月28日（日）～1月5日（月） までお休みです				1 休み	2 休み	3 休み
4 休み	5 休み	6	7 福祉こころ相談 10:00～12:00	8	9 イブニングタイム 17:45～19:30	10 映画会 『鉄道員ぽっぽや』 13:30～15:25 発達障害相談 10:00～12:00
11 休み	12 休み	13 身体障害相談 13:00～15:00	14 福祉こころ相談 10:00～12:00 リラックス体操 14:00～15:00	15	16 イブニングタイム 17:45～19:30	17
18 休み	19 休み	20	21 スタッフミーティング 10:00～12:00	22	23 イブニングタイム 17:45～19:30	24 コーラス 14:00～15:30
25 休み	26 休み	27	28 福祉こころ相談 10:00～12:00 リラックス体操 14:00～15:00	29	30	31

支援センターのーま利用について

普段の暮らしに関すること、障がいや病気のこと、福祉サービスのこと、困っていることがあればご相談ください。☎042-311-2660 ☎042-311-2300(受付は祝日除く火～土 10:00～17:00)　住所：多摩市関戸4-19-5 市立健康センター4F

障がい者就労支援センター

“イザ”という日に備え立川で防災体験

①消火器を使用した消火体験。腰を落とし構える姿は真剣そのもの

㊀①高松駅から徒歩15分。立川消防署の隣に位置する立川防災館

晴天に恵まれた11月15日、生活支援プログラムのメンバー13名は多摩都市モノレール高松駅に集合。そこから歩いて15分ほどの場所にある立川都民防災教育センター「立川防災館」の社会科見学ツアーに参加した。地震や火災について知り、対処方法を学ぶことを目的に、インストラクター指導のもと、AEDを使った救護体験や消火訓練のほか、シミュレーターを使っての地震体験や煙から身を守る方法などを勉強した。全員が説明に熱心に耳を傾け、普段できない体験に楽しみながらも真剣に取り組んでいた。最後のミニシアター「3.11　私たちは何を経験したか」鑑賞では先の震災を思い出した人もいたのではないだろうか。東日本大震災では多くの人命が失われ、過去に類のない被害が出た。今回の体験訓練とミニシアター鑑賞を通して一人ひとりが防災を他人事にせず、日頃からの備えと対策をとっておくことの重要さを感じたのではないだろうか。

①地震体験。東日本大震災のシミュレーションではリアルな揺れを体感した

㊀防災に関するリーフレットに真剣に見入る姿も

㊀待ち時間の防災グッズコーナーに興味津々

現場からの声

「できる仕事はない」

朝9時、センターを出た。エンジンをかけいつもの道を進む。緊張からか周りの景色が違って見える。気が付くとガソリンが少ない。気持ちを落ち着かせるためスタンドに寄った。ほどなくして聞こえてきた「ありがとうございました～」の声に背中を押され、再び車を走らせる。今日は障害者雇用がまだという企業に行くことになっている。法的整備が進み雇用率も年々上がっているとはいえ実際に雇用している企業は半数にも満たない。**「できる仕事はない」「どう対応したらいいかわからない」**。そんな言葉が返ってきそうだ。不景気の中、企業も生き残りに必死だ。うまく説明できるだろうか。どうやったら納得させられるだろうか。期待と不安は半々ではなく、不安のほうが大半だ。ハローワーク。職業センター。ジョブコーチ制度。発した言葉に自信のなさを見透かされるようで、説明したことの半分も届かないような気がする。かたちのないものをかたちにするのは難しい。だから、今日もたくさんの声を聞こうと思う。

●実績報告●
11月は就職後支援が大幅増

11月の相談件数は、前年同月と比較し17%増の計344件。うち就職後の支援が59.9%で前年同期の49.3%から10.6ポイント増となっている。今年度は新規登録者が多く、11月までの合計で34人となり、これは前年同期までの18人から大幅増となった。

新規就職者は病院事務と惣菜の製造・パック詰めなど軽作業の2人。4月からのトータルで29人となったが、前年同期までと比べると32人から約1割減となっている。

●今月のひと口解説●
働き方と社会保険の関係とは？

会社で働く人には一定の条件を満たした場合、社会保険に入る義務がある。それはパートやアルバイトといった働き方でも同じである。社会保険とは労災保険、雇用保険、健康保険、厚生年金保険をいい、以下のように加入条件が定められている。会社によっては社会保険の加入条件を満たしていない場合もあり、働き方を選択する際は注意が必要だ。

労災保険
業務災害、通勤災害に関しては、農林水産の一部事業を除き、パートタイマー等にも適用される。保険料は全額事業主の負担となる

雇用保険
1. 1週間の所定労働時間が20時間以上であること
2. 31日以上雇用される見込みがあること　※週40時間以上の労働契約の場合はその別

健康保険・厚生年金保険
1. 1日または1週間の労働時間が正社員の概ね3/4以上であること
2. 1ヶ月の労働日数が正社員の概ね3/4以上であること

就労支援センター利用について

就労したい方、または就労継続を希望する多摩市在住の障がい者やご家族の方からの相談を受付けています。相談は予約制です。☎042-311-2324(受付は祝日除く月～金 9:30～17:00)　住所：多摩市関戸4-19-5 市立健康センター4F

④3文字の多摩市障害者福祉協会の広報誌は？ □□■

⑤バドミントンに似ているお正月の遊びは？ □□□■

⑥元旦に昇る朝陽をなんという？ □□□□■